

電圧差動継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	EDA	定 格 電 圧	V	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	— A	動 作 表 示 器	DC A
準 拠 規 格	JEC-174	バ ラ ン ス 調 整 範 囲	110V/-35 ~ +34V	動 作 電 圧	110V/ $\Delta V = \pm 3 V$
			55V/-17.5 ~ +17V	制 御 電 源	55V/ $\Delta V = \pm 1.5 V$

試験項目・試験結果

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	構造・外観・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間：10M Ω 以上（規格値）	
耐 電 圧 試 験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
平 衡 試 験	(1) 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧を加えておき、電圧平衡微調を調整して、バランス確認用メータの平衡がとれること。 (2) 各整定に於て、 $V_A =$ 定格電圧、 $V_B =$ 定格電圧 + 整定値相当の差電圧（誤差=±10%）でバランス確認用メータの平衡がとれること	
特 性 試 験	（注）下記項目の試験を実施する。	

製 造 番 号				
器 具 番 号				
動作値 ($\Delta V = V_A - V_B $) 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧の状態より V_A 又は V_B を徐々に下げていく	動 作 側	許 容 誤 差	公称値の±10%以内	
	前 段 側 後 段 側 と も	定 格	公 称 値	許 容 範 囲
		110V	3V	2.7 ~ 3.3 V
		55V	1.5V	1.35 ~ 1.65 V
動作時間 整定=0V, $V_A = V_B =$ 定格電圧の状態より V_A 又は V_B を零電圧に急変する	前 段 側	許 容 範 囲	0.4 ~ 0.6 s	
	後 段 側	許 容 範 囲	0.4 ~ 0.6 s	

備 考

試験回路図 (例)

承認	作成